



ラテンアメリカ文学案内 FIESTA DE LETRAS

野谷文昭 旦 敬介 編著

冬樹社

書名

ラテンアメリカ文学案内

festa de LETRAS……文学の祭典

初版発行

昭和五十九年十月十日発行

編者

野谷文昭・日敬介

発行者

高橋直良

発行所

株式会社 冬樹社

東京都千代田区神田保町二丁目六番一〇二
電話 (〇三) 五四一〇三四六 振替 東京八七五七

編集担当

角田健司・吉田純二

印刷所

凸版印刷 株式会社

製本所

小高製本工業 株式会社

造本者

鈴木一誌

定価

一六〇〇円

0078-0504-5190

© 1984 Printed in Japan

著・訳・挿絵は各著者の権利です。

冬樹社

ラテンアメリカ文学案内
FESTIVAL
文学の祭典

野谷文昭・土旦敬介 編集



LUJOSOS
PREMIOS

歴史と始原

三浦雅士

●一九四六年生れ。京都高校卒。

『ユライカ』現代思想の元圖彙集。

現在、文芸批評家、著書に私とい

う現象『釣のちつと』夢の明

るい輝(以上、冬樹社)、主体の姿

容(中央公論社)、『メランコリー

の水脈』福武書店がある。

平田 遼

●一九四六年生れ。神戸市外国語
大学大学院卒。現在、関西大学文
学部助教授。スペイン文学の研究
が中心。

自然

都市

暗喩としての娼婦

野谷文昭

イメージの変容

展開するラテンアメリカ小説

ロア・バストス

山崎恒子・白坂小一訳

落合一泰

●一九五一年生れ。東京大学大
学社会学部研究科了。ニューヨーク
州立大学大学院博士課程了。現在、
中部大学国際関係学部国際文化学
科講師。専攻は文化人類学、メキ
シコが研究の中心。

キノのおののき

落合一泰

フロレス

ルート・チャ・リブレの彼方へ

小野好恵

壽聖順平 食

76

句の

地理学

壽聖順平

●一九二〇年生れ。早稲田大学大
学院法学研究科了。現在、早稲田
大学法学部教授。ラテンアメリカ
に於けるスペイン語の発展過程等
を研究。

アウグスト・ロア・バストス

Augusto ROA BASTOS

山藤昭子

●一九四七年生れ。大阪外国語大
学大学院外国語学研究所。現在
神戸商科大学商学部一般教育学科
講師。現代メキシコアメリカ文学
特にカルシア・マルケスの研究が
中心。

●一九一七年生れ。ハラグアイの
小説家。若くしてチャコ戦争に従
軍した後、ジャーナリスト、外交
官などを経て、汝人の子よて六〇
年に小説家として登場。四七年に
アルゼンチンに赴し、七〇年代
には一時帰国していたが、現在は
フランスに在住。独裁者小説の傑
作とされる『至極の存在』の余は
がある。

草野進

●一九四七年生れ。筆道家。海
（休刊）の連載をはじめ各誌でプロ
野球に關する執筆・発言を行い、
近々プロ野球論を刊行（中央公
論社）する予定。

素晴らしきカリブ海野球

草野進

人間
間 ヨーロッパ・アメリカ
交通

144

反近代の文学

154

木村榮二

恒川恵市

●一九四八年生れ。東京大学
院社会学部研究科。現在、東京大
学社会学部中南米科助教授。ラチ
ンアメリカの社会・政治が研究の
中心。

独裁者の憂鬱

恒川恵市

中心のない渦巻き

富山太佳夫

●一九四七年生れ。東京大学大
学院修士課程了。現在、お茶の水女
子大学助教授。専攻一九世紀英国
小説。著書に『テキストの記録』
（南雲堂）、翻訳に『トマス・シービ
オクシャーロックホームズの記
号論』（岩波書店）、『スーザン・シン
タク 晩年としての病』（みすず書
房）等がある。

河村要助

●一九四四年生れ。イラストレー
ター。音楽。特にサルサに造詣が
深く、著書に『サルサ天国』等の
特集等がある。

サルサにお手あげ

河村要助

横尾忠則

●一九三六年生れ。アーティスト。
著書に『イントロ』（文藝春秋）、『横
尾忠則全集』（講談社）等がある。

横尾忠則

罪を食う大陸

今井雄二

ガルシア
マルケスの館

150

104

115

138

156

インディヘンソの影

山陰孝夫

●一九四七年生れ。大阪外国語大学大学院外国語学研究科了。現在、京都産業大学教養部助教授。現代イスパノアメリカ文学、特にバルガス・リョサ、アルゲルダスとインディヘンソの研究が中心。主な論文に「緑の家」に関する全体小説の試み（『外国語・外国文学研究』4号、大阪外語大学文学士会）がある。

二世紀を迎える
ラテンアメリカ文学

アレホ・カルペンティエル 萩内勝之

Alejo CARPENTIER

●一九〇四年生れ。一九八〇年没。

キューバの小説家。二〇年代の

パリでシュルレアリスムに触れ、

新大陸の現実を「魔術的リアリス

ム」により具象化するとしてアフロ

キューバ文化にアイナンティティ

を見出す。（時期の魔術師の異名）

現在、東京経済大学講師。主にス

を持つ。また、音楽にも造詣が深

い。著書に失われた足跡、この世

の王国等がある。

萩内勝之

●一九四三年生れ。神戸市外国語

大学イスパニア学科修士課程了。

現在、東京経済大学講師。主にス

を持つ。また、音楽にも造詣が深

い。著書に失われた足跡、この世

の王国等がある。

研究。

研究。

研究。

研究。

研究。

研究。

タンゴのリズムに魅せられて

マセル・ファムをめぐって 高峰源二郎

五〇年代
越境者の饗宴
野谷文昭ボクシング
野獣たちの最後の戦い
伊藤俊治

伊藤俊治
●一九五三年生れ。東京大学文学部美術史学科卒。東京大学大学院人文科学研究所修士課程了。専攻は西洋美術史。現在、美術・写真評論他で活躍中。著書に「写真都市」（冬樹社）がある。

四方田大彦

●一九五三年生れ。東京大学文学部宗教学科卒。東京大学人文系大学部比較文学比較文化学科博士課程を満期退学。現在、東洋大学講師。スウィフト論、映画論をはじめ様々な評論活動を行っている。著書にリビエールの間（朝日出版社）、クリティック（金樹社）等がある。

ボルヘスと映画の審問
四方田大彦ファム
ブームの終焉
野谷文昭

高橋源一郎

●一九五一年生れ。小説家。現代アメリカ文学、現代詩等に強い関心を寄せている。著書に「さようなら、キャンクたち」（講談社）、虹の彼方に（中央公論社）がある。

306

索引 index general

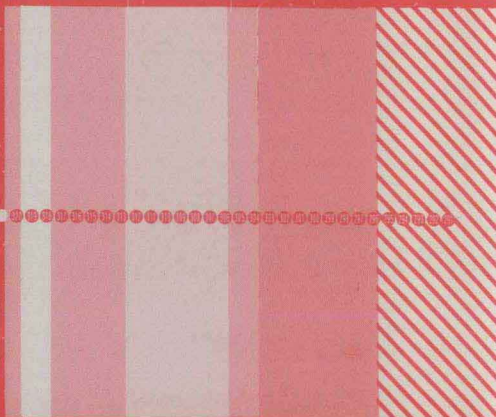
313

参考文献 bibliography

outro.....野谷文昭

野谷文昭

●一九四八年生れ。東京外国語大学ロマンズ系言語学科卒。現在、津田塾大学講師（文学）。一九〇年代の前衛文学「九五〇・六〇年代の新小説」等を研究する。主な論文に「パスのエクサシム（シチュレーション）読本」思潮社、「ラテンアメリカ一九〇〇年代作家の群像（イヘロアメリカ研究3巻1・2号）上野太才イヘロアメリカ研究所「翻訳」フィグ・闘争女のキス」集英社、ガルシアマルクス「予告された殺人の記録」（新潮社）等がある。



ラテンアメリカ人としての
ラテンアメリカ文学

ホルヘル・フイネリ

ホルヘル・フイネリ

Jorge RICHIELI

●ウルグアイの批評家。ハラーバ大学で教鞭をとっている他、デクストウリイコ、誌の編集長でもある。著書に「現在進行形の批評」等がある。

右井康史

●一九五九年生れ。東京大学教養学部ラテンアメリカ科在学中。現代メキシコ文化専攻。

足立備行

315

昼下がり
の酩酊

足立備行

●一九四八年生れ。早稲田大学政治経済学部中退。現在、ノゾフィクシラ・ライターとして活躍中。著書に「人旅に暮らす」（交通公社出版事業部）がある。

本文凡例

- ① 原註 語文中原註のあるものに限りては★印で対応を示し、同じ見開き内に註文を置いた。
- ② 脚註 重要用語にはサイト・リンクを置き、綴註を付し、奇数頁欄外に置いた。
- ③ 図版 重要図版のネームは偶数頁欄外に置いた。
- ④ 表記 人名は、母国での発音を基として、本全体での統一をはかった。

強姦された

女の土地。

○パスは

そう呼んだ

スペイン人の荒くれた者に

犯されること出発した大陸。

父親が不在のまま育つたその子供たちは、

再びは犯されまいと

自らをマヌスモの殻に肉体で閉ざし、

女体のように開かれて、いることを拒絶する。

戦いとは、

恐怖心を追いつ出すための戦いなのだ。……K D

暴力

スラム・イン・シゲラル ①



メキシコ革命は多数の國像的表現を生んだ。
有名な壁面運動はそこから出発したのである。
エフセストンの勢であり異人であったモトリヤは
ウエストンのワイルドの影象の中に
必ず革命のイコをすべりこませたのだ。

①—リベラの壁面部分。②—デナエド・トッテ、撮影。一九七一年。▲

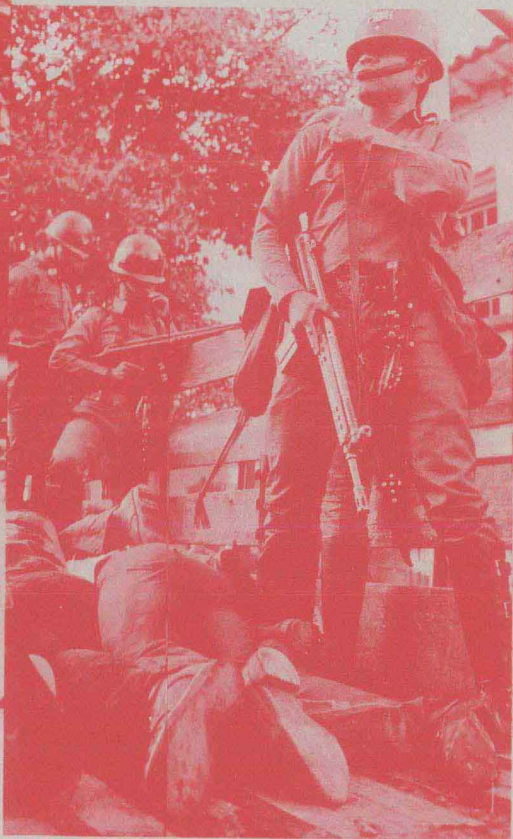
① 制服が制服でないが、遺はそれだけである。市街戦の後、ギリウの死体をトラックに積みこんで、ボアとるトルサルバトル政府軍兵士、フイボット、撮影。▲

② ニカラグア革命政府は、急進的に進み歩みだすところだが、その政府軍兵士の空手組あめりては、ここもカリブ海野球の文化圏に属してゐることを感じ出はる。

③ イライリード、撮影。

④ アカプルコの出来事。

破壊活動のかごと進められる若者。▲



彼らは

反抗的な人間には
こと欠かなかった

トウタ・アラー一世にはじまり、シモン・ボリー、バチスタ・ロサ、サニターノ將軍、カストロ、それに、チエ、名をもった確たる肉体たちが力をめぐつて血をたぎらせたのだ。しかし、世界中で力が無名化され、肉体が記号化されてゆくにつれて、この大陸でも力は数の背後に、視線の背後に隠れてゆく。

アルファベットの団体名。

ここに兵士らしさを装う兵士たち。

彼らの意志の概要は不透明なままだ。

確かに、彼らも匿名のニカラグア革命の時代名の知れぬニンゲン時代の時代を、やみくもに駆けぬけてゆくのだ。……KD

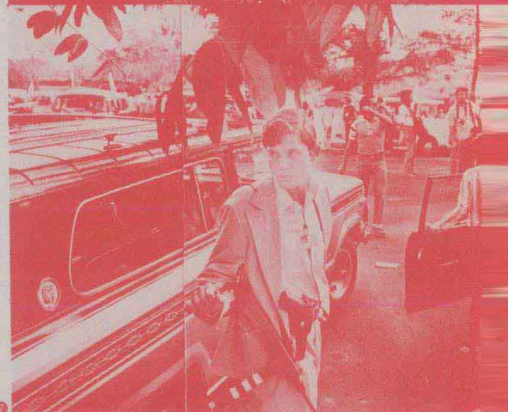
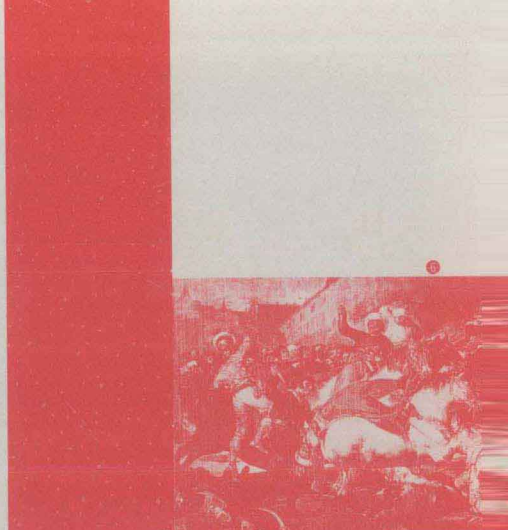
宗教

スリランカ・セイロン

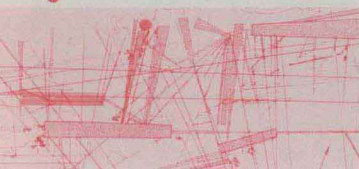
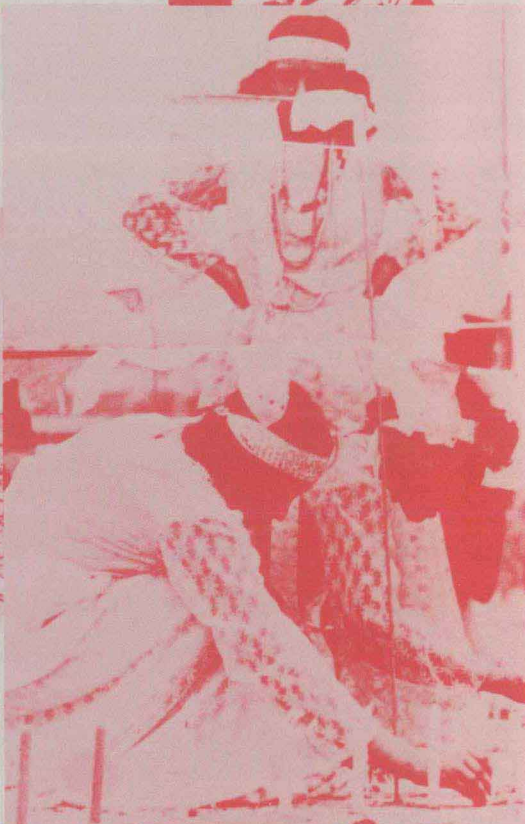
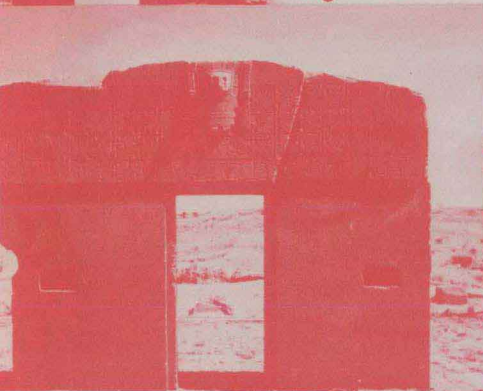


異教の熱情は黒いマリアに血を捧げる

白人観光客の好奇の眼差しを浴びながら、ダアタルへ寺院の広場をインゲオがひたすら膝行するのは、一五三二年、アステカ時代に豊饒の女神トナツィンが祀られていたそのテヘヤツクの丘で、インゲオのファン・デ・エゴが黒いマリアを見るとき、奇蹟が起った結果であるが、この混淆宗教はメキシコをはじめ、ティエラワナコの太陽の門やモチーカの大神殿、ナスカの地上絵などが見られる地域では必ずしも特異な現象ではない。……F.N.



- ① 一八〇年に始まるラテンアメリカ諸国の独立は、ナポレオンのスペイン進攻による血まみれの戦いから始まった。「コヤムドリッド」一八〇八年五月「日」。
- ② 一九八二年春、エルサルバドルに反政府ゲリラがボイコットを呼びかける中で終戦が行なわれた。
- ③ その選挙キャベトン会場を強奪するボデガード。イー・ワイ・ド「撮影」。
- ④ 一五三〇年「コルテスの部下、パトロナルバルバド」はメキシコの神殿内でメチカ人の大禮殿を行なった。▲



- ①—メキシコに渡ったエミセシニエタンは、メキシコ万歳でボサタの骸骨カリカチア面をスクリーンに映して。
- ②—無数の神霊・教祖像や霊媒者がある現在のフニルは、コナマタリ力の中にも特に神々の充滿する国であるかもしれない。
- ③—海の女神シニシヤのために少女らが犠牲を献ず。カルロ・ニエナ。撮影。一九七九年。▲
- ④—ボリス・コニ。撮影。一九七三年。▲
- ⑤—映画「秘められた河」一九四四年。
- ⑥—神父だ。▲
- ⑦—インカに大きく先立ミヤアアナコの太陽の門。一枚の岩からなる。ケイサン。撮影。
- ⑧—ナタカの地上絵。▲

陰蔽された熱情は 突如として 噴出する

ブラジルが帝政から共和政へと変貌した直後に
起きたカヌーダス^①の戦いも

革命政府の安定を阻むかのように起きた

メキシコのクリスチアノの叛乱も、

アイデニティエタ^②の喪失を恐れた

狂信的キリスト教徒による、

近代国家に対する異議申し立てであった。

ローマ法皇のメキシコ訪問に際して見られた

熱狂は、伏流となったキリスト教的熱情の

突然の噴出がもたらした現象なのだ。……F.N

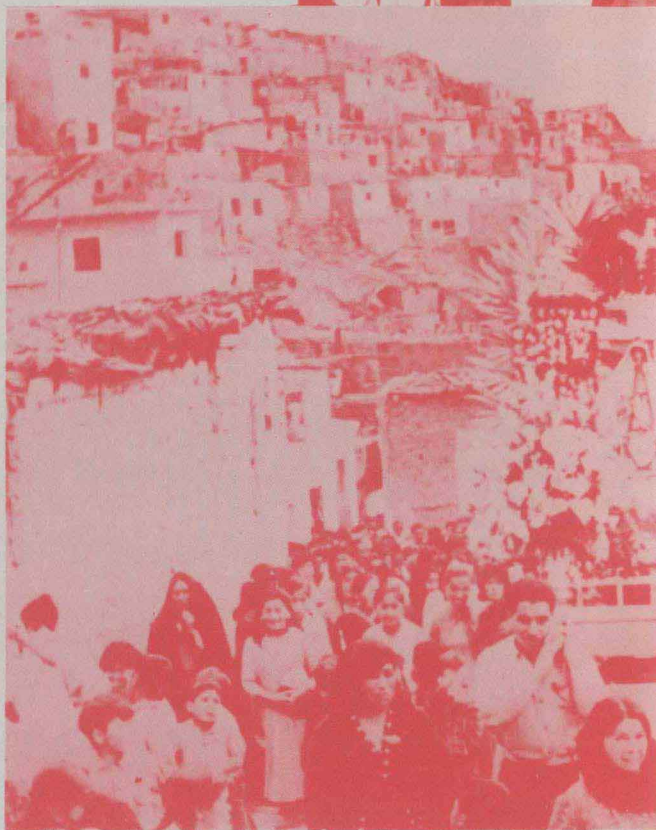


①—最も熱心な信者、インディオの女性たち、
ファンルルフォ^②。撮影。メキシコ。
②—法皇の生涯は画となつて広められ、
神格化され、親しまれる。▲





● マリア像を御輿に載せて町を
回り歩く祭礼行列。リマのラムにて。
● 庇陽だ。
● 一八七八年のパリ万国博覧会には
ラテンアメリカ諸国からも多数の参加が
あった。民族学ギャラリーより。▲



ラテンアメリカに渡った〈キホーテ神父〉は 新たな〈キホーテ神父〉を生む。

「ダタール」の聖母万歳！ 悪しき政府よ滅べ！ スベインよ死ね！ と叫んで反乱の先頭に立ったミゲル・イダルゴ、
ガルシア・マルタの息子に洗礼を施した後、ゲリラとして戦死したカミーロ・ロドリゲス、
社会主義国「カラダア」文部大臣を務めるエルネスト・カルデナル、

彼らもまた、ベラクルスからメキシコ市まで裸足で歩いたフランシスコ会士や
バグダダイにインディオのユートピアを建設したイエズス会士同様、〈キホーテ神父〉ならなのだ。……FIN



巨大な

すりばち状の

空間には

少年たちの夢と

男たちの誇りが

託されている

けれどもそこは、

ひとたひ有事あればすぐさま

銃器で包囲された収容所と化す場所でもある。

いずれにしても血の匂いがたちこめているのだ。

そしてその匂いとは、

カトリシズムの秘める魔術的な

熱いサティズム的傾斜と

通底するものなのでは

あるまいか。

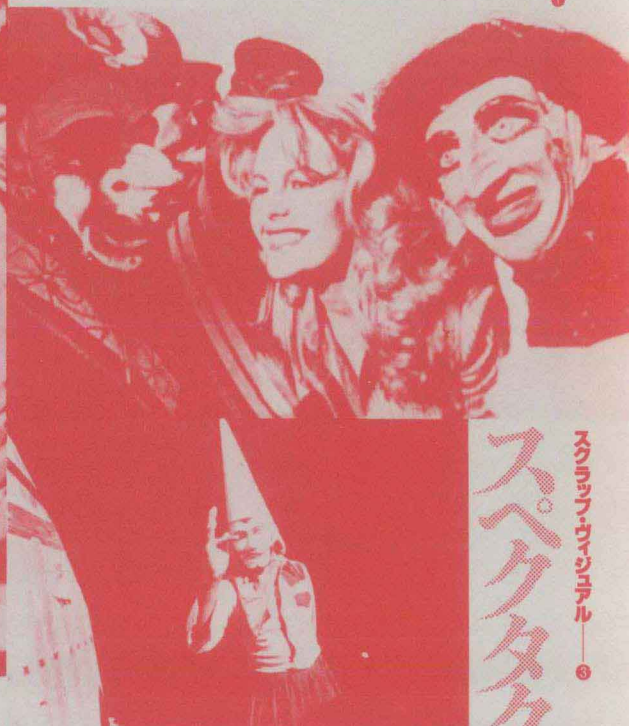
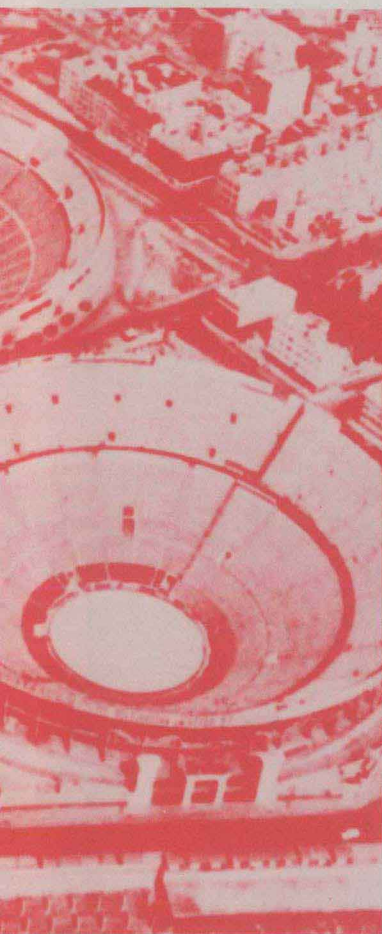
少年たちは、

標高四千メートル近い

ラ・パスの町でさえも、

空地を見つけてはボールを

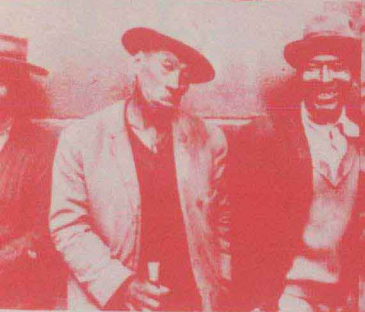
蹴りはしめる。……KD



スぺクタクル

⑤

スぺクタクル



- ① インカの時代から伝わるペルー・クマのインディアン祭り。
マキニエロの旗争奪戦は、この国最大の観光資源であり、
大衆の祭典では、インカの黄金と現代が交錯する。
インディアンに参加してミナール。
- ② ペドロメンテル「撮影」。
- ③ メキシコ市の熱狂空間、サッカー場と闘牛場「ラサメロ」。
- ④ 「エル・フスクリン」聖体の祭り、ペルー。
ロペル・アトマン・アトシ「撮影」。